

科目名	教科書名	副教材名
高3 (特進理系) 地理特講	新地理A (帝国書院) 基本地図帳 (二宮書店)	地理図表 (第一学習社) ウィニングコンパス (とうほう)

1. 授業のねらい

地球環境と人間生活の関係を、教科書・地図帳・統計資料・写真などの教材を利用し、科学的に考察する能力を養うことを目的とします。また、2年次までの知識を用いて、大学入試問題に対応できる能力を養います。

2. 授業のすすめ方

高校3年の(特進理系)地理特講は、2年次の地理Aに引き続き、授業プリント・副教材である地理図表を併用し授業を進めます。さらに授業の理解度を深めるため、電子黒板に写真・動画などの資料を投影し、活用します。

3. 学習上の留意点

- (1) 基本的な事項を「理解」して覚える。【気づいたことはメモをとる】
- (2) 地名は必ず地図を見て位置を確かめ、印をつける。【地図帳の利活用】
- (3) 常に「なぜ、そうなっているのか？」を考える。【因果関係の理解】
- (4) 資料、統計、地図から推理する。【法則性の理解】
- (5) 常に世界の新しい情勢に注目する。【時事的内容の理解】

⇒ 地理は、単なる暗記科目ではありません。「連想ゲーム」のように関連づけて理解していくことが、知識を定着させるポイントになると思います。

※2年次の「地理A」から「地理特講」と教科名が変わりますが、基本的には、昨年度の継続です。そして、内容は大学入学共通テストを意識することから、地理Bの要素を多く採り入れていきます。ただし、週2時間の授業だけでは不足するところが出てくるので、共通テストを考えている人は、積極的に自分でも学習をして下さい。わからないところは、担当者に積極的に質問してください。

4. 副教材・参考文献

<副教材> 最新地理図表GEO (第一学習社)、ウィニングコンパス (とうほう)

<参考文献> 地理統計要覧 (二宮書店)、地理用語集 (山川出版)

必要に応じて授業の参考となるプリントを配布します。

他、大学入試に向けて参考になる参考書・Webサイト等は、授業中に紹介します。

5. 評価方法

定期考査の結果、課題の提出状況、授業態度、授業内小テストなどにより総合的に評価します。

- ① 定期考査 100点満点×3 (考査の範囲は、1週間前までに発表します)

出題内容 授業中に学習したもの、及びそれらの応用問題

- ② 平常点 30点 (1学期20点、2学期10点)

授業態度や提出物、小テスト等をもとに評価します。

6. 定期考査

地理特講(特進理系)としての試験は1学期2回、2学期1回の合計3回です。

考査1週間前までには、考査範囲を発表します。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	○地球上の位置と国家 ・位置, 時差, 図法, 国境, 領土問題	定期考査・授業態度・ 課題・発問に対する対 応状況などにより評価 する。 【中間考査】 【期末考査】	地球上の位置や領土 (問題)について, 現代 世界がかかえる諸課題 を, 身近な事例をもと に考察することができる。 また, 地図の種類 やその読み方を習得し て, さまざまな表現を することができる。 世界の諸地域の特徴 を自然環境, 歴史と文 化・民族, 農業, 工業 の事象を項目ごとに整 理し理解を深めること ができる。
	五月	○地図 ・主題図と一般図, 地形図, GIS		
	六月	○グローバル化が進む世界 ・貿易, 交通, 通信, 観光		
	七月	○生活と文化のかかわり ○現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジア, 中央アジア ・北アフリカ, サハラ以南のアフリカ		
二 学 期	九月	・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ○日本の自然災害と防災 ○入試に向けた問題演習	基礎学力到達度テスト 定期考査・授業態度・ 課題・発問に対する対 応状況などにより評価 する。 【期末考査】	世界の諸地域の特徴 を自然環境, 歴史と文 化・民族, 農業, 工業 の事象を項目ごとに整 理し理解を深めること ができる。 大学入試に向けて, 大学入学共通テストや 各大学の問題の傾向を 掴み, 高得点が取れる テクニックを身につけ ることができる。
	十月			
	十一月			
	十二月			
三 学 期	一月			
	二月			
	三月			

※シラバスの内容(時間や事項)については, 理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。